

唐丹の歴史いろいろ(八)

大船渡市吉浜

木村正継



前号は、三浦寛平先生の遺稿にも記載が有りいつかはご紹介したいと思っておりましたが、前公民館長の小原英先生がおいし観音のことに詳しいことを知りお願い致しました。

今回は、唐丹の漁船の遭難を掲載しますが、未だよその資料の十分な確認が出来ておりません。しかし、過去に知られていない遭難

が、唐丹の歴史を語る会長でもある俊禅和尚さんの盛岩寺過去帳の総点検から何件か新たに判明しましたので、中間発表というつもりで掲載します。

海難事故は気象の激変による自然災害に遭遇して発生しています。特に三陸は晩秋から冬にかけて季節風か吹き荒れる時期が多く、下表を見ると十一月から十二月の遭難が多くなっています。

また、初秋から三陸沿岸を通過する台風は多くあるが、夏台風は不規則な進路をとって稀にはあるが襲来する。そのことを六月・七月ごろの鯉船の遭難が如実に表しているといえます。

唐丹海難記録

西暦	和暦	月日	出典	事故の内容
1626年	寛永3年	6月	唐丹小史年表	大風により仙台、南部領浦々被害甚大なり、気仙9艘82名・宮古浦26艘340名流亡
1645年 1645年	正保2年 正保2年	3月 3月	唐丹小史年表 山名宗真調査	暴風雪により赤魚船、越喜来2艘・両石2艘・83名流亡 越喜来2艘・唐丹村1艘・平田2艘・両石2艘・都合7艘82名流亡
1670年	寛文10年	7月	大船渡市史 唐丹小史年表	大船渡市史では寛文9年7月11名 唐丹村で沖漁船1艘11名流亡
1682年	天和2年	12月25日	過去帳	花露辺・唐丹4艘53名流亡
1709年	宝永6年	11月20日	過去帳	唐丹市兵衛船12名流亡
1726年	享保11年	2月	唐丹小史年表	大風により唐丹村漁船4艘49名流亡
1729年 1729年	享保14年 享保14年	2月 2月10日	唐丹小史68頁 唐丹小史年表 過去帳	唐丹権四良船6名・同與傳治船6名流亡 唐丹村漁船3艘12名流亡 唐丹権四良船6名・唐丹與傳治6名
1742年	寛保2年	7月	唐丹小史年表	大風雨により小友村鯉船3艘38名・南部領各浦々被害多し、その数百を以って算すという
1755年	宝暦5年	6月	唐丹小史年表	霖雨により唐丹村漁船1艘13名流亡
1769年	明和6年	4月5日	唐丹小史年表	大風雨により両石・釜石・唐丹浦の漁船戻らず。7日釜石10艘、両石10艘ばかりの内釜石両石各1艘戻らず、唐丹は不明
1781年	天明1年	12月23日	唐丹小史年表 過去帳	唐丹村漁船1艘9名流亡 唐丹船主不明9名
1782年	天明2年	2月	唐丹小史68頁	大風雨陸は木を抜き海は逆波、仙台領南部領にて多く流亡す。その数98人艘(ママ)漁師440人なりという
1782年	天明2年	2月	唐丹小史年表	大風雨により、仙台南部各浦々で漁船98艘、404名流亡という
1783年 1783年	天明3年 天明3年	6月 6月	唐丹小史68頁 唐丹小史年表 角屋敷久助覚牒	大風吹き船舶多く覆没す。仙台領南部領海岸にて漂没する船舶夥多その数知らず。前年の大風にて転覆の船舶の数に劣らず天保4(1833年-49年=1784年)が50回忌の遭難あり
1793年 1793年	寛政5年 寛政5年	11月 11月29日	唐丹小史68頁 過去帳	治助・作平・九助 海死3名 船名不明4名